

～子ども達の未来のために～

1月13日、第5回嵐山町立小中学校再編等審議会が開かれました。会議ではこれまでの審議会委員の意見や、保護者アンケートで示された4つの再編案について審議が行われました。

案1

- 七郷小を志賀小に統合
- 玉ノ岡中を菅谷中に統合
- 菅谷小は変更なし

【課題】

- 3校分の建替えまたは長寿命化が必要。
- 菅谷小は工事期間中仮設校舎による対応が必要。
- 志賀小を七郷小に先行統合する必要がある。
この場合、通学について対応が必要。
- 上記③の対応ができない場合、志賀小は工事期間中仮設校舎による対応が必要。
- 中学校は菅谷中を玉ノ岡中に先行統合する必要がある。
- 七郷小+志賀小のクラス数は、10年後に全学年1クラスになると予測される。
- 通学についてはスクールバス等の対応が必要。

案2

- 七郷小と志賀小を統合、玉ノ岡中に施設一体型の小中一貫校を設置
- 菅谷中に菅谷小と施設一体型の小中一貫校を設置

【課題】

- 2校分の建替えまたは長寿命化が必要。
- 菅谷中及び玉ノ岡中は、工事期間中仮設校舎による対応が必要。
- 七郷小+志賀小のクラス数は、10年後に全学年1クラスになると予測される。
- 中学校の部活動、教員配置について課題となる。
- 通学についてはスクールバス等の対応が必要。

案3

- 小学校3校と統合し菅谷小に設置
- 中学校2校を統合し菅谷中に設置

【課題】

- 2校分の建替えまたは長寿命化が必要。
- 菅谷小を志賀小に先行統合する必要がある。
この場合、通学について対応が必要。
- 菅谷中を玉ノ岡中に先行統合する必要がある。
- 上記②・③の対応ができない場合、菅谷小及び菅谷中は工事期間中仮設校舎による対応が必要。
- 通学についてはスクールバス等の対応が必要。

案4

- 小学校3校、中学校2校を統合し、菅谷中に施設一体型小中一貫校を設置

【課題】

- 1校分の建替えまたは長寿命化が必要。
- 工事期間中、菅谷中を玉ノ岡中に先行統合、または仮設校舎による対応が必要となる。
- 通学についてはスクールバス等の対応が必要。

会議では4つの案を、再編後の児童生徒の人数について、スクールバス等通学について、再編に要する建築費や修繕費など費用面について、工事期間中の児童生徒への影響についてなど様々な視点から審議しました。会議で使用した資料は町ホームページにてご覧になれます。

ご意見・ご質問等ある方は、お近くの審議会委員へ、または町ホームページ内「町政のご意見箱」へお願いします。